

ともに歩む



新発田市立藤塚小学校
人権教育、同和教育便り
令和3年7月1日 No.1

人権教育、同和教育に取り組んでいます

藤塚小学校では、令和2年度に引き続き、校内研修で人権教育、同和教育を推進していきます。「互いに認め合い、共に生きようとする子どもの育成」を研究主題として、人権学習を行っています。全職員で取り組み、活動や授業の効果を検証していきます。

学習参観の際には、お子さんの学習の様子を見ていただき、ご家庭でも話題にさせていただくことでより学習がより深まっていくと思います。



教養部主催のPTA講演会が行われました

演題「人権について考えよう」

「アルビレックス新潟」のスタジアムDJでもある森下様の声のパフォーマンスから、今年の講演は始まりました。今回は、6年生も一緒に参加したので、思わず微笑んでしまう話題もあり、真剣に考えさせられる話題もあり、あっという間の45分間でした。

会場の全員で、4つの場面の絵を見ながら、それぞれの悪い所とよい所を考えました。「人間の行動は、どんなことをしてもクレームを入れることはできる。しかし、見方を変えるとよい部分が必ず見えてくる。自分の考えと違っていても、自分の考えとは別に、他人の考えを認めていくことが、人権が守られる社会なのではないか。」というメッセージを聞き、うなずいている人が大勢いました。

PTA 教養部の皆様、スムーズな運営ありがとうございました。

新潟お笑い集団
NAMARA
森下 英矢 様





参加された方の感想をご紹介します



- 人権という単語だと身近に感じませんが、経験や家庭のことを題材にされていたので、深く考えることができました。いつでも人に優しくふかんに考えられるようにしたいです。
- 楽しく人権について考えられる講演は初めてでした。「ほめることの大切さ」「優しくいられる環境」を日々心掛けたいと思いました。
- とても分かりやすく話をしていただけ良かったです。色々な意見があって良いということ、否定ではなく肯定することなど、子どもにも伝えていきたいと思いました。
- 人権について考える機会は普段なかなかないので、とても有意義な時間を過ごせました。一番身近なところで対子ども、否定が多い自分を少し反省しました。ほめたり、優しくしたりを増やせていけたらなと思いました。
- モノの考え方は人それぞれで、他人を尊重できる考え方は大人でも難しいし、自分さえよければという人も多い。周りをよく見て尊重して助け合える子どもから大人に成長してほしいし、そういったことを家族で話し合えるきっかけになりました。
- 難しいテーマだなと思いつつ参加しましたが、とても分かりやすくユーモラスにお話してくださり、最初から最後まで引き込まれてしまいました。45分間あっという間でした。もっと大勢の方にきいていただきたいと思いました。
- 多様性を認め合うには、ほめることを心掛けたいと強く感じました。また、個のあり方が親子の幸せの感じ方を決めるのかなとも考えました。
- 「人権について考えよう」という内容はむずかしいようで…しかし、実は身近なことから、思いやりと優しさで守られるのだと思いました。わかりやすくとてもよかったです。
- 話が分かりやすかったです。かたい話にならないで、聞きやすかったです。ほめること、信じることを大切にしたいと思いました。
- 今回の講演を聞き、「ほめること」や「優しさを与えること」がとても大切なんだなあと実感しました。クレームや否定的な考えが多い世の中ですが、「ほめること」や「優しさを与えること」が増えたら、生きやすい環境になり、今以上に幸せな生活ができるのかな…と考えさせられました。

紙面の都合上、一部の方の感想掲載となりました。ご参加ありがとうございました。